

2019年度 特別研究推進費実績報告書

2020年 4月 2日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 大学院マネジメント研究科・教授

(氏名) 松田 憲

2019年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、  
次のとおり報告します。

研究課題名	選択のオーバーロード現象に焦燥感が及ぼす影響					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>選択のオーバーロード現象とは、過剰な商品選択肢は消費者にかえって負担になり、購買意欲を抑制してしまう現象である (Iyengar &amp; Lepper, 2000)。その再現性については度々疑問視されているが、現在ではある一定の条件のもとでは生起するような非常に限定的な効果であると見られている。その中で、Haynes (2009) は、タイムプレッシャーによって焦燥感を明示的に与えた場合にオーバーロード現象が生起することを示したものの、その後の研究での追試が成功していない。本研究は、選択を待つ他者の存在によって焦燥感を非明示的に与えることで選択のオーバーロード現象が生起するかを検討した。参加者の半数は、10名の待機列が視界に入る状態で4枚ないし12枚の画像の中から欲しい画像の順位付けを行い、その後に全順位付けに対する満足度と後悔度の評定を行った。残り半数の参加者は、待機列のいない状態で同様の手続きで行った。その結果、選択時に待機列があることで選択のオーバーロード現象が生起した。待機列によって生じた焦燥感が認知的制御を妨害し、効用を最大化するような厳密な論理による選択が阻害されたことによると考える。</p>					
	合計	使用内訳 (単位: 円)				
交付決定額	578,641	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	578,641	433,983	123,998	0	0	20,660
執行残額	0					
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		
	広島大学・准教授	有賀 敦紀		計画立案、予備調査、本実験		